

**各自治体子育て支援担当者様**

調査代表者： 辻井正次（中京大学教授／浜松医科大学客員教授）

**全国各自治体における  
発達が気になる子どもや発達障害のある  
子どもがいる家族への支援に関する実態調査**

この調査は、厚生労働省平成 26 年度障害者総合福祉推進事業「市町村で実施するペアレント・トレーニングに関する調査」の一環として、①発達が気になる子どもや発達障害のある子どもがいる家族に対する自治体の家族支援実態の把握と、②ペアレント・プログラム（ペアレント・トレーニング）の実施状況を把握するために行うものです。

ご協力いただいた結果は厚生労働省の施策に反映される予定です。お忙しい時期に大変恐縮ではございますが、ご協力のほどお願い申し上げます。

調査に関するお問い合わせと回答（メールでお送り頂く場合はPDFとして下さい。）は、下記の電話およびメール宛先までお願い致します。

回答期限は、**1月30日（金）16時**といたします。

**回答送付先**

事務局：特定非営利活動法人アスペ・エルデの会 宮地菜穂子  
〒452-0821 愛知県名古屋市西区上小田井 2-187-201  
TEL & FAX： 052-505-5000 もしくは  
E-mail: [ibasho@as-japan.jp](mailto:ibasho@as-japan.jp)

**I. 担当部署の基本情報**

問1 貴方が所属されている子育て支援担当部署名を記入してください。

担当部署名	
連絡先 (電話、メール)	

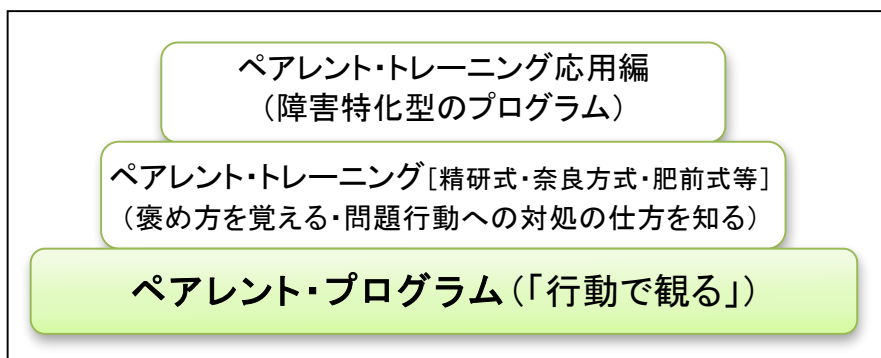
問2 貴自治体の規模について教えてください。(H26年4月現在)

自治体・圏域の総人口	昨年度の年間出生数	18歳以下 (0~18歳)	0~6歳	0~3歳
人	人	人	人	人

## ペアレント・プログラムについて

「今後の障害児支援の在り方に関する検討会」の報告書では、ペアレント・プログラム（ペアレント・トレーニング）は今後取り組む必要性が高い取り組みと位置づけられています。

また、発達障害者地域支援体制整備の一環として＜ペアレント・トレーニング（プログラム）＞の普及を平成26年度からスタートしています。このペアレント・プログラムは、保護者の認知の変容を目的とした認知行動療法的な内容を、一般の保育士や保健師、障害児福祉事業所職員が実施できるようにした簡易なプログラムです。



左図は、従来のペアレント・トレーニングとペアレント・プログラムの位置づけを図示したものです。図のように、ペアレント・プログラムは、従来のペアレント・トレーニングなどの前段階として位置づけられています。

ペアレント・プログラムでは、「行動で考える／行動で観る」ことに特化し、母親の認知的な枠組みを修正することを目指しています。具体的には、自分と子どもの『行動』について現状把握表を用いて整理し、(叱って対応するのではなく)適応行動ができたことを褒めて対応することを学びます。私達は、特に努力をしなくてもできていること(得意なこと)、手助けや工夫をすることでできていること(苦手なこと)があります。このプログラムでは、普通にできていることを「得意なこと、良いこと」と考え、手助けなどが必要な「苦手なこと」を知り、実際には苦手だができていることを気づいて見つけていきます。プログラムに参加した母親は、プログラム終了後精神的健康の改善(抑うつ改善)や子育て様式の変化(肯定的な働きかけが増え、叱責が減少する)など、母親の認知が子育てしやすい状況へと変化することが知られています。

プログラムには、保護者の他にも支援者の方も同時に参加されています。母親がプログラムを受け、地域の支援者の方はプログラムの様子を見学して学びます。また参加している支援者は、参加している母親の事後フォロー(具体的には、現状把握表の書き方の相談や不参加回の内容説明など)も行っています。支援者の方はプログラムの進行を理解し、どういった視点で母親を支えていけばよいかを学びます。特に自分および子どもの現状把握上の記載内容に、精神的な状況や発達面などで気になる記述があるかどうかを確認するなどして、母親の状況を理解するよう努めます。

このプログラムは、1クール6回を隔週で実施し、おおよそ3ヶ月で終了します。1回おおよそ60分から90分で実施します。1クルールのプログラム終了後、スーパービジョンなどでプログラム運営の実務的な指導を行います。第1回では「ガイダンス、現状把握表の書き方」、第2回では「行動で書く」をペアワークを通して実施します。この2回で本人と子どもの現状把握表の書き方に慣れていきます。第3回では「行動のカテゴリーをみつける」ことを行います。現状把握表では、「いいところ」「努力しているところ」「困ったところ」をそれぞれ書いていきますが、書かれた内容について、共通のカテゴリーをそれぞれ見つけていきます。第4回では「ギリギリセーフ!をみつける」を行います。知らずしてとっている対処行動について気づいてもらうプログラムです。第5回では「ギリギリセーフ!をきわめる」を行います。ギリギリセーフになりやすい状況などを考えます。第6回は「ペアプロでみつけたことを確認する」を行い、プログラムのまとめを行います。

このペアレント・プログラムは、全国の複数の発達障害者支援センターでの集中的な職員研修が行われています。今年度、北海道、青森、福島、長野、静岡、愛知、石川、福井、奈良、和歌山、岡山、徳島、鳥根、山口、福岡、長崎、大分、鹿児島各道県にてペアレント・プログラムが実施されており、保育士、保健師、発達障害者支援センターのスタッフの他、相談機関の事業所スタッフなどが学ばれています。また自治体によっては、子育て支援の一環や、保育士の研修など、多様な実施のされ方がなされています。

## Ⅱ. 子育て支援の全体像

問1-1 子育て支援の現状について伺います。あなたの地域では、発達が気になる子どもや発達障害のある子どもたちの子育て支援活動についてどういう課題を抱えていますか？ ご回答される方の印象に該当する数字を○で囲んでお答えください。

子育て支援活動についてあなたの印象は？	1. 比較的うまくいっている 2. 全体に課題が大きい
人口規模に対する支援者のマンパワーの印象は？	①十分ある ②やや十分 ③やや不十分 ④不十分
支援者の専門性に関する印象は？	①十分ある ②やや十分 ③やや不十分 ④不十分

問1-2 子育て支援に関する社会資源の現状について数字を○で囲んでお答えください。(複数回答可)

1. 紹介する医療機関が地域（あなたの市町村内）にある
2. 家族の相談や支援の担当者がある
3. 母子教室や講座などの家族が子育てを学べる機会がある
4. 障害児支援を行っている事業所での受け皿がある
5. 専門的な相談や支援の受け皿がある

問2 現在不足しているとお考えのものについて、下記の中から数字を○で囲んでお答え下さい。(複数回答可)

1. 児童精神科や小児神経科などの専門医療機関
2. 専門的な療育を実施する専門職
3. カウンセラーなど相談業務を行う専門職
4. 福祉的な相談を受ける社会福祉の専門職
5. 民間の療育施設や事業所
6. 専門職が研修や相談をうけるための大学や研究所等の研究機関
7. 行政サービスを実施するための行政職員
8. 施策を実施するための予算
9. その他 ( )

問3 あなたの地域での子育て支援の展望について、該当するとお考えの数字を○で囲んでお答えください。

1. 現在の取り組みでほぼカバーできているので、継続する
2. 不足している部分があるので、新たな取り組みを検討中である
3. 取り組みの予定がない→その理由 ( )

問4 あなたの地域で、発達の気になる子どもや発達障害のある子どもの子育て支援活動の中で今後特に力を入れていきたいのはどのような支援でしょうか？ 数字を○で囲んでお答えください。(問3で、1. もしくは2. と答えた方のみお答えください。複数回答可)

1. 保健師による個別相談
2. 保育士・相談員による個別相談
3. 心理士等による専門的個別相談
4. 育児に関する母親向け講演会
5. 自治体主催の育児グループの実施
6. 発達支援のための母子教室
7. ペアレント・トレーニング等の連続講座の実施
9. 民間主催の育児サークルの紹介や応援
10. 保育園での一時保育等の紹介
11. 公私立障害児通園機関等の障害児福祉事業所での療育等への紹介
12. その他 ( )



問5 発達が気になる子どもや発達障害のある子どもへの子育て支援のために、自治体ではどのような形式で研修を行なっていますか？ 下記の中から数字を○で囲んでお答え下さい。(次ページに選択肢がございます。複数回答可)

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| 1. 自治体主催での研修を実施している                         | 2. 研究機関等、外部の機関の研修に公務で参加する   |
| 3. 研究機関等、外部の機関の研修に個人的に参加する                  | 4. 現場単位で対応がまちまちである          |
| 5. 自治体では特に主催していないが、民間主催の研修の後援や資金面などで支援をしている |                             |
| 6. 特に研修を行っていない                              | 7. 研修を行いたい資金面で問題があり実施できていない |
| 8. その他 ( )                                  |                             |

問6 障害者総合福祉推進事業の一環として現在普及の取り組みを行っている<ペアレント・プログラム>について、さらに詳しい知識や情報を得たいと思いますか？

知識情報について	1. さらに知識や情報を得たいと思う	2. 特に知識や情報を得たいと思わない
研修や実施について	1. 研修や実施をしたいと思う	2. 特に研修や実施をしたいとは思わない

【ご希望がございましたら、当アスペ・エルデの会の HP (<http://www.as-japan.jp/>) に研修会等のご案内を随時掲載しております。参加を希望される方は、当会へメールにてご連絡ください】

以上、ご協力ありがとうございました。

お時間があれば、以下に行政の立場から、または現場の職員の立場からお気づきの点などがございましたらご記入いただけますと幸いです。わが国の政策において子育て支援が重点化され、どのような具体的な施策を行うべきか、現場の意見が求められている時期ですので、忌憚なきご意見をいただけますと幸いです。具体的な提案内容はまとめて編集した上で政策担当者に責任をもって伝えます。

自由記述欄

お忙しい中、ご協力誠にありがとうございました。

巻末資料2 自立支援協議会調査 自由記述結果

	行政の立場から、または現場の職員の立場から気づいた点
1	本村住民課職員4名で税務係、戸籍住民登録係、厚生係、環境衛生係、年金係、人権対策係、交通対策係、女性対策係、地籍係を行なっているので人員不足となっており、研修等は行なっておりません。
2	ペアトレ後の改善点(母親の抑うつ状態、子育て様式の変化)に対して、数値化されたデータがあると、導入に向けて理解を得やすくなると思うので、ぜひ効果を一目で見分けるツールを作成して頂きたい。
3	気になる子どもが増加傾向にあります。それに対応するスタッフ不足、資源不足が課題。以前よりは、発達障がいに対する意識・認識は変わってきている(いい方向に)。発達障がいおよび気になる子および保護者に関わる専門スタッフの配置を各市町村におくようにしていただきたい。
4	近年、人口減少が問題とされているが、子どもは2~3人は欲しいと考える独身者や夫婦は少なくない。問題とするのは、将来を見据えた経済力が伴わず、結婚をしても子どもは1人あるいは作れないなどあげられている。子育てする生活環境を整えない限り人口は増えていかに感じている。一自治体では出来る程度ではないが、0~3歳まで全ての母親あるいは父親が働かずとも子育てが出来る経済援助等がかなえれば、安心した子育てが可能となり、人口増につながるのではないかと考えている。
5	H26年度から、ペアレント・トレーニングを実施し、効果を感じています。今後、ペアレント・トレーニングの実施の積み重ねで、受講した母達が増加していけば、地域の子育てが良い方向になるだろうと考えています。
6	発達支援センターに通級される方もすくないが、ペアレントトレーニングのすすめをしても希望者が少ない。又は地域性で移動手段の確保が難しく継続が難しい。充実させるためにはそれなりの財源が必要であり、手厚い対応を求めたい。辺地での専門職や研修機会の確保も困難な状況である。
7	ペアレント・トレーニングの必要性を感じているが、町の規模も小さく、単独実施は難しいと感じている。発達が気になる子は増えており、保護者も発達障害の傾向がみられ、その場合の対応等苦慮している。
8	保育所の設置、地方自治体への財政措置。子育て支援は、マンパワーによるところが大きいので、人材育成とそのための予算措置が必要。地域によって、状況が大きく異なる。都市部と山間地(過疎地)の状況のちがいがあつのに、同じ制度の中でやろうとするのには、とても無理がある。補助金があるけれど使えない、合わないことが多い。
9	山間僻地に位置し、社会資源が不足している地域では、1人の職員が、複数の担当を持っている状況です。実際に、より専門的な療育支援を必要とする場合でも、遠くて通えない等の理由から、町単独で事業を展開し、工夫して支援しています。都市部では、行政でペアレント・トレーニングまで担えるかもしれませんが、当町では財源・人員ともに不足し、実施は困難です。相談や親子の教室を行うのみです。より専門的な支援が、細部まで行きわたるよう、専門職の派遣や事業実施できる体制について配慮していただけたらと感じています。
10	2010年アスペ・エルデの会さんで発行したA3版(見開き両面)のパンフは参考になりました。それ以降“発達障がい”についてあらゆる場面で取り上げられてきていますが、まだまだ行政の政策が追いついていない現状だと思います。母子健診での早期支援はもとより、現在社会生活を営んでいる“大人の”方への支援も視点に入れることが重要だと思います。本人の支援も大切ですがそれよりも支えている母親(妻、パートナー)など家族の苦労や大変さについての家族支援が今後重要になってくるのでは…と思います。
11	当村にも、支援を必要とされるご家庭がたくさんあります。研修させていただける機会があれば是非学んできたいと思えます。
12	・地方には心理士等の人材が少なく、また療育機関も当村にはない状況にある。保健師だけでは力量不足ではあるが、いろいろな機関と協力しながら支援を行っている。乳幼児健診などを契機とした療育支援が政策化されるなど公的なものになっていけば、しっかりとした支援を担保できるのではないかと考えます。
13	現場の職員も日々子ども達の支援に力をそそいでいるところだが、一市町村で支援の充実を図るのはなかなか難しい。専門的な立場から判定し、それをもとに支援を考えていくことが今の状況ではできない。できる範囲で精一杯やってくれている。
14	予算と時間(余裕がない状況である)人材確保ができる予算をお願いしたい。
15	過疎地域の人材配置、人材育成をどのように行っていくべきか?社会資源の構築など課題が多いです。
16	事務的な報告が多くなり、訪問等の現場に行く機会が少なくなっている。新しい事業が増え、報告が多いので大変。
17	早期発見・早期療育の必要性、重要性が広く知られるようになっておりますが、見つけることができても次につなぐ場所に空きがない状況です。また、療育につながったことで満足してしまう保護者さんも増えてきていると感じています。ペアプロ以前の保護の養育力を伸ばすような関わりが必要なかもしれないと思っておりますが、人的にも金銭的にもあまり余裕がない状態です。
18	職員が研修に参加する時間がなかなかとれず、休日に単発的に自己学習をして実施しています。体制づくりが課題ですが、なかなか解決につながらないのが現実です。

19	<p>・行政の中では、事業のための予算の確保や、マンパワーに問題があり、なかなか有効な支援ができていない状況です。研修機関との地理的な距離もあり、多くのスタッフを公費で研修に出すことも制約があります。特に、保育士は最も現場で保護者とかかわれる立場にいますが、実際に研修に出るとなると、代替の保育士を確保する必要もあります。保育士の確保自体が難しいこともあり、なかなか研修がすすまないと思っています。</p>
20	<p>子育て支援係で「特別児童扶養手当」の担当をしております。障害をお持ちのお母様方から、有期再認定を受ける際、診断を下さる病院が少なく、遠距離・2ヶ月待ちということなので、近くで診断を下さる病院があればと思っています。</p>
21	<p>都市部と地方では課題が異なる。子育て世代への経済的サポートも必要ではあると考えるが、一時的な金銭的補助では、人を育てる上で必要な質は保たれない。保育・教育・専門職種の質を高めるためには、研修の開催ではなく、研修に時間とエネルギーを注げるだけのマンパワーが必要。正規雇用職員配置の義務付けと、財源を国が援助する制度。民間、研修機関等への委託による事業展開は、地方にとって人材確保が難しい。移動時間に見合った委託料等を払える補助制度の設定。保育所等訪問について・移動、打ち合わせ、事後記録にかかる時間を保証するだけの単価にはなっていない。特に地方にとって、対象者の総人数が少なく点在する状況で、移動にかかる時間、交通費に見合う収入にならない状況で活発な事業展開は不可能。民間医療機関にとっては、訪問等に出ることで医療保険による収入が減り、敬遠することになる。⇒単価の見直し。移動にかかる費用保証制度。児童発達支援・放課後児童デイについて・人として生きていく力を幼児期・学童期に育むことが、将来働くことに意欲を持ち、働ける力を育ていくことにもつながり、福祉サービスの対象ではなく、納税者となれる人を育てることにもなる。そのために、預ける場所ではなく、特性に応じ、発達の観点を持った関わりが重要。現在は、質についての加算は微々たるもので、専門職種一人を雇えるだけの金額にはなっていない。質が保証されるための人員配置とそれに対する十分な加算を望む。</p>
22	<p>回答期限を過ぎての提出ですが、よろしくお祈りします。明日(2月27日)からまた吹雪の予想です。雪の少ない道東ですが今年は積雪70cmと多いです。明日積雪が多いと1m近くになります。春はまだ先のようです。発達に遅れがある子には少しでも早く春が来ることを期待します。</p>
23	<p>子育て支援センター、保健士、保育士等が連携しての取り組みに力を入れているが、さらに良いことができるのではないかと、常に課題が出てくる。気がかりな親や子は増加しており、職員も予算も、もっと増やしたいのが、現状である。</p>
24	<p>子育て支援の充実もありますが、近年は集団に参加できない子、コミュニケーションがなかなかとれない子、多動の子が幼稚園や保育園から早期療育をすすめられ、下手すれば排除するような動きを感じます。ペアトレを現場の先生方が学び、保護者と一緒に工夫する対応をとらないと、発達障害が特別のものとして扱われるような危機感があります。今回のペアトレとは異なりますが、当町ではCSP(コモンセンス、ペアレント・トレーニング)を実施しています。行動をみる、ほめる、伝えることで変わっていくことを体験しています。(最も虐待予防としての取組ですが…)</p>
25	<p>現在、発達に何らかの障害のある子どもたちが、増えています。子どもだけでなく保護者に精神疾患をもっている方も多い状況です。保護者が精神疾患をもっていることで、子どもが虐待を受けているケースも多い状態です。その為、大人にも子どもにも様々な相談対応ができ、指導ができる専門のスタッフが自治体に確保できれば良いと思います。本町には、保健師、保育士、児童福祉司等の免許取得者がいますが精神疾患や発達障害の専門の免許をもった職員がいないので、ぜひ、専門の職員を配置してほしいと願っています。</p>
26	<p>母子健康担当職員として、乳幼児期の子どもと保護者にかかわる中で、子どもの特性への理解、肯定的受容がある保護者の子どもの育ちが、のびのびとその子なりに順調にゆく様子を見て、そのようなことが難しい保護者に何とか伝えたいと思うことが増えてきました。ペアレントプログラム(トレーニング)が、支援の手だてになるのではないかと思います。当町の人口規模、職員の配置数で、どのように行えるのか日々の業務に追われる中、実施できずにいます。</p>
27	<p>ペアレント・プログラムの目的や効果については、ある程度理解しているつもりですが、身近な所で気軽に受講できる体制が必要だと思います。また、発達が気になるお子さんや発達障がいのあるお子さんを育てている親自身も発達の偏りや特性を抱えている場合も多く、支援がうまく進まなかったり、何らかのトラブルが起きることもあります。そのような場合にも、ペアレント・プログラムの必要性は感じています。</p>
28	<p>県は県での取り組みが悪く、何でも市町村に下ろしてきます。私どもの町は小さい町で使える予算には限りがあり、マンパワーを集めるのもとても大変です。特に専門職は少なく、少ない中でうまくやりくりしているのが現状です。国や県単位でしっかり動いていただけるとこちらも事業展開しやすいのに、すぐに投げつけてくる。うまくかみ合いません。県でペアレントトレーニングの研修をやってはくれませんが、発達障害の研修はありますが、それが実際現場ですぐに使えるものでもありません。結局、県の動きでは満足できずに町独自で頑張るしかない現状です。国や県で具体的な取り組みを示して、それぞれの市町村での事業が軌道にのるまで支援していただければ、小さい町や村でも頑張っていくと思います。国や県の方々が現場に来て現場の現状を知ることがとても大切だと思います。</p>

29	<p>・発達が気になる子どもや発達障害の子どもは、今後増えていくことが予想される。親の育てにくさや心の負担は、児童虐待につながるおそれもある。・発達障害を認めたくない親も多いため、決め細やかな支援が必要と思われる。親子の関係性をよくするためにも、ペアレントトレーニングのような方法をもっと身近に感じられるような施策が必要なのではないか。・地方では医療機関の不足が深刻である。初診は3~4ヶ月、半年待ちということもあり、専門医の増加を望む。</p>
30	<p>行政の役割(特に母子保健では)は、早期発見し、早期に療育につなげることがまず第一の役割だが、療育につなげるまでの保護者に児の発達に偏りがあることを認識してもらい、それを受け入れて次の行動に進むまでには、繊細な対応が必要であり労力もかなりかかっているため、現状としてペアレント・トレーニングを実施するまでの段階には至っていない。また小さな自治体では対象者数が少ないため、市町村単独ではなく広域的な取り組みができるような体制づくりが必要であると感じる。とにかく、療育機関や専門的な診断のできる医療機関が少なすぎるため、増やしていく施策をぜひお願いします。</p>
31	<p>美唄市母子保健事業連絡会議(H26年度)のデータのひとつに、「発達課題のある子どもの数と割合(※H26年12月末現在)」の数字が、要支援、見守りの必要なお子さんと、グレーゾーンのお子さんの割合が(2歳児)、(3歳児)で半数を超えていて、大変驚きました。実際、日々お子さんに関わっている保育士や子育て支援センターの職員も、数字まではいかなくても確実に増加しているという印象を持っています。「発達障がい」のお子さんに限らず、支援を必要としている親子さん、育ちに不安を抱えながら具体的に何処に相談して良いかわからない方を専門機関に繋げるだけでなく、支えるために、私共スキルアップは不可欠だと痛感しています。</p>
32	<p>当町の規模からして、住民ニーズの少ない当該事業について独自で体制を構築することは、問題が多い。近隣市町との広域的な取り組みが理想と考えるが、それぞれの市町の事情もあり、早急な展開は望めないのが現状である。まずは、県での取り組みに期待したい。</p>
33	<p>・子ども手当など子どもに対する支援であっても、保護者が使い道を決めてしまう。せめてその手当分、給食費無料化、保育料等の引き下げ等にできないものだろうか?・地域で育つ環境整備づくり(町の中心部での公園化等)見まもり出来て、集まる広場(交流の場)作り等の補助金があるといいと思います。</p>
34	<p>新宮市では、子育て支援センター・保健センターの協働で、未就学期の子どもや家庭の相談支援をしています。母子保健が窓口となり、発達に気になる子どもや発達障害のある子どもと家庭への関わりが主となりますが、子育て支援センター(兼:家庭児童相談室)で受けつける相談ケースでは、子どもの育てにくさにより、育児が上手いかず怒る⇒虐待傾向となる事例も多く、発達支援の体制を整えることは、重要な課題と思います。「児童虐待・DV対象等総合支援事業」では、市町村の対象枠が減らされる等、厳しい状況です。子育て支援を図るには、児童虐待未然防止を目的とする訪問事業、支援者や家庭の研修や学習会(親支援プログラムなど)、地域コミュニティの充実など具体的な取り組みが必要です。行政として、子育て支援に取り組み、それを感じることは多々ありますが、人員体制の厳しさから、なかなか拡充できないのが現状です。子ども・子育て支援制度等が着々と進む中、発達や家庭状況に課題を抱える家庭に具体的に関わっていけるような体制が組めるような施策もあわせて進めてほしいです。※30年余り保育の現場におり、4年前から子育て支援センターや家庭児童相談業務に関わるようになり、補助事業等の事務を担うようになったので、的はずれな意見かもしれませんが、その時は削除お願いします。</p>
35	<p>現場の職員や支援者のスキルアップがまだまだ必要であるように感じる。アスペルガーやADHDの3~5才児でグレーゾーンの子どもたちに対する集団の中での配慮についての理解やスキルがまだまだ不足しているように思う。</p>
36	<p>ペアレントプログラム・トレーニングは、外部機関にお願いをしています。今後はさらに必要性が増すと思われるですが、当町で実施するのは現在の状況では難しく、取り組めていない状況です。</p>
37	<p>・発達特性のある子は増加しているが、子どもをみることができる専門スタッフは数が足りていないのが現状。専門スタッフが切れ目なく育成されていくように、教育支援をしてほしい。・専門スタッフを雇用したくても、小規模な自治体では予算的に限界がある。・雇用がより柔軟にできるような、予算面での配慮をしていただけたらと思う。</p>
38	<p>・問6については、研修や実施について→実施する(主催する)ではなく、受けて、知識を得たいとは考える。・発達障がい児(疑)に対する支援については、ひとつの課で集約されていない。療育事業は圏域単位で実施され、他町と協議運営されており、単独では人材不足、予算不足もあり厳しい。・受け皿としての事業所も不足している。</p>
39	<p>保護者が我が子を育てにくいと思っているケースは多々あると思う。いわゆる発達障がいだけでなく、子育てで悩んでいる保護者が多いと思うので、幅広い層の人々が、ペアレント・プログラムを受けることは、親子双方にとって有効だと思う。</p>
40	<p>・両親の理解が得られず普通学校へ就学し、教師と両親の関係が悪化するケースが多くみられる。教師の発達障害児の基本的な対応と親への接し方が不十分である。学校への心理士の巡回相談を定期化し、教師が相談や対応を学べる場が必要だと思う。・行政のマンパワー不足によって本プログラムを遂行する時間がとれない。</p>
41	<p>保育者の保育力の低下がさらに子どもたちを不幸にしていると思います。中には先生と呼ばれる方の中に当事者?!と思われる方々がちらほらとみうけられ、子どもの色々なスイッチを入れたりしてしまい、それを障害があるからと決めつけ子どものせいになっていることがとても残念です。</p>



42	・実感として、地域での発達障害等に関する住民の意識は、地区により差があると思うが、偏見差別的考えであることが多い。また、地域内の保育園、幼稚園、関係機関なども知識や考え方に差があり、充実した連携や支援が行えている、とは言いがたい状況です。まずは、勉強会や連携をとるために、できることからと考えていますが、マンパワーも少なく、予算的にも厳しい状況で、なかなか進んでいない、というのが現在の状況だと思っています。このような状況で、ペアレント・トレーニング・プログラムを実施しても、充実したものを作り、継続は難しいと思います。
43	本庁において保育所分野で発達障害児等、早期療育支援事業を実施しています。特に園巡回や集団観察等を行い、専門家による指導助言を保育士に行っていますが、事後支援として、保護者や児童への事後支援は実施できていないのが現状です。特に保護者への事後支援のひとつとしてペアレントトレーニングを実施していく必要があります。ただし、実施するためには、スタッフの確保が必要であり、専門性がないとできないので、研修する必要もあり、専門職の人材も必要です。今後も考えていかないといけない課題のひとつだと思います。
44	発達が気になる子どもを診てくれる医療機関や、継続して支援してくれる相談者、医療施設の量が不足している。
45	発達が気になる子どもさんを診てくださる医療機関や、継続して支援して下さる相談者、療育施設の量が不足しています。
46	能美市は保育園がすべて公立であることを生かし、保育園に専門相談員を派遣し、その場で対応について指導を行っている。日常生活の場での対応であるため、着実に効果はあがっている。H27年度は発達支援センターの建物が完成し、発達が気になるお子さんへの対応は益々充実したものになると考えている。
47	ペアトレの研修の拡大と周知をお願いしたい。
48	①発達障がいの子で、手帳がとれないケースの関わりが多くあります。学校への進学先が限られてしまったり、行先がなく困ることや、中学卒業後に就労を希望する方もいます。相談支援事業所の相談員が、学校との連携をうまくとり、統一した子どもへの支援の継続に心がけています。(保育園から小学校へ、小学校から中学校へ等進学時、ケース会議で引継ぎしています)②親が子どもの特性を理解し、関わりを習得することで子育てに悩むことが軽減できたり、子ども自身がストレスをかかえることが少なくなると思い対応していきたいです。③療育が必要であろうと思われるケースであっても、うまく誘導することができない場合もあります。周囲の支援者が専門アドバイザーと連携し、少しでも良い方法で子どもに関わりたいと思います。
49	・発達障がい疑われる児童の早期発見・早期療育支援のため5歳児で発達確認を行い、スムーズな就学への支援体制を整えているが、専門性の高い事業でありスタッフの配置などの充実には、経費負担が大きくなっている。国に財政支援をお願いしたい。・地域における専門分野の人材(財)の把握が難しい。県レベルで情報がほしい。
50	・アンケート内容が多課にわたっていたので回答は集約してあります。
51	ペアレント・トレーニングの有効性や重要性を感じている。しかし、支援スタッフの専門性や研修も重要であり、継続的実施は、対象の状況によった柔軟な対応が必要と感じる。受給は大きいですが、支援スタッフの確保などの課題がある。又、自治体では職員の移動が避けられず、技術伝承も課題。外部講師の確保には人材と予算面で課題も大きく、自治体単独事業ですすめていくには課題が大きいと感じる。
52	ペアレントトレーニングは、発達障がいにかかわらず、発達が気になる子どもや育てにくい子どもを育てている親への「親支援プログラム」として虐待予防や育児負担の軽減につながるものと期待しています。日々の保育に携わる保育士や幼稚園教諭向けのプログラムも実施されれば良いと思います。
53	福岡県立大学の協力を得て、保育園、幼稚園、学校之先生を中心に勉強会を行っている。手法がわかりやすく効果が表れやすい点が高く、市内の支援者に広がっていると感じている。今後は、保護者を対象に実施していく計画である。
54	本市では、現在 NP というペアレントプログラムを行っています。受講者からは「受けて良かった」という声も聞かれ、継続して実施したいと考えています。実施できる職員を増やしたいと思うのですが、近隣で研修がほとんど行われておらず、個人的に遠方で資格を取得しているのが現状です。県などの公的な機関が近隣で安価な研修会を開催していただければ、と思います。
55	・幼稚園就園前の療育教室を実施しているが、発達障害の子がその後通園できる療育の場が少なく通常の幼稚園に就園しているため、いろいろな困難が生じていると思われる。受け皿が少なく適当な療育を受けることができていないことが残念である。
56	現在、佐賀大学の中島先生に八女市でペアレントプログラムを開催して頂いています。初回の緊張の表情から一変して笑顔も増え、回を追うごとに楽しみに待っていますとの声が聞かれるようになりました。先生はどうしてこのように行動を具体的に記し、何についてのものかわけられ本当にすごいですね。現在3回終了したところですが、今後どうなるだろうとワクワクしますと話されました。これを最初に考えだして下さった先生ってすごいとの大好評です。我々行政の立場からもペアプロにより、いろんなところの機関とつながる事ができ、大変勉強になりました。今後ともよろしくお願いします。

57	<p>ペアレント・プログラムは保護者が子どもの現状を理解し、適切な関わり方を学ぶことができる点で、とてもよいプログラムだと思います。障がいの有無に関わらず、一般の子育て支援でも活用できると思います。自治体独自で実施するためには、担当職員が研修をしっかりと積んでSV同等の資質を備えた職員を育成していくとともに、常にアドバイスを受けられる支援体制が必要かと思っています。ペアレント・プログラムが充実してきたから、ペアレント・トレーニングの導入を検討するようになるにはある程度の期間が必要だと感じています。さらには、保育士、教諭のカリキュラムの中に(大学講義、実習など)発達障がい児に直に触れる機会等を設ける等、真のインクルーシブ教育が実現できる環境が整っていくことを願っております。</p>
58	<p>家庭生活や集団生活の中で困難さを抱える子どもや子どもの成長や発達に不安を持つ保護者や関係者が増加しています。保育現場では、保育士不足の課題を抱えながら対応に追われている現状です。子どもへ適切な支援をするために具体的な施策を模索中であります。</p>
59	<p>回答は、母子保健担当部署、障がい福祉担当部署と心身障がい児訓練施設からの回答を合わせたものになります。回答ができない欄もありますので、ご容赦ください。埼玉県八潮市役所 ふれあい福祉部 子育て支援課 本郷</p>
60	<p>ペアレント・プログラムについて興味はありますが、子育て支援施策の一事業として取組むには、現状では担当課に人手や予算的な余裕がないため、まずは余裕ができたなら情報から取り入れて今後検討していきたいと考えております。</p>
61	<p>市内に専門療育機関もなく、発達外来をもつ医療機関もありません。市で親子の遊びの教室を開催していますが、試行錯誤で行っている状況です。より効果を高めるために、実施回数をふやしたいのですが、その予算の獲得からスタッフの確保など課題が多く、思うようにすすまないのが現状です。国から発達支援センターを設置することが、各自治体の義務となれば、体制を整えやすくなるのではと感じています。</p>
62	<p>・ペアレントトレーニングの研修を受けたが、業務に削ぐ時間がとれないことや、マンパワー・スキル・専門人材不足などの課題のため導入までのハードルが高い。・ペアレントトレーニング以外の手法による家族支援を学ぶ機会がほしい。</p>
63	<p>ペアレント・プログラムについては市の独自予算のなかで、実施するにはまだ難しいと考えている。実施する人材の確保、提供する場の確保、対象者の抽出など…。もっと専門機関で実施している場があれば、保護者に情報提供はできる。</p>
64	<p>こどもの支援に力を入れる目的で、障害児の発達支援等が児童福祉法に位置づけられた結果、療育関係の施策は保健部署で担当することになった。メリットは、幼児期の健診からそのフォロー、教室等、保健サービスの流れができ、児発のサービスにもつながりやすくなったこと、保健師がケースワークしやすいなどがあげられる。反面、障害福祉施策には、上がりにくくなったのではないかと思われる。大きな課題として、幼児期→就学→進学→就職のライフサイクルに合わせた一貫した支援体制づくりがあげられる。支援者間で「つなぎ」の工夫等検討しているが、保健・福祉・教育が一体的に支援できる機構を作ることも必要ではないかと考える。</p>
65	<p>(現場職員の立場から)・投資在住の発達支援を必要とする児のすべてに所属先(幼稚園、保育園、通園施設 etc.)にかかわらず、支援が実施されるよう、市としての早期発達支援のシステムが確立できればと考えます。・H26年4月より「サポートブックはーと」を支援の必要な方に配布し、少しずつ活用が始まってきています。今後、保護者対象の研修会や、支援者対象の研修会を実施し、ライフステージが変わっても継続的な連続性のある発達支援や保護者支援ができるためのツールとして活用できることを期待しています。・療育、相談、保険の専門職の資質向上に向けた取り組み、発達障害に対する理解が一般の方々にも広がっていくような取り組み、発達障害児、保護者への支援、すべてが充実していくことを願っています。</p>
66	<p>障がい児が落ちついて生活を送るためにも、また発達が気になる児童を支援へつなげるためにも、幼稚園、保育園、学校、病院、保健師、通所事業所などの関係機関との連携が大切になると思います。そのためには相談支援専門員の役割が重要になりますが、実際、相談員が不足しています。相談支援をより充実できればと考えています。また、支援に携わる人員も不足しており、児童系事業所からは報酬体系などを見直すべきではないかとの意見もあがっています。</p>
67	<p>発達障がい診療・相談できる医師の不足。療育を行なうOT、ST、CPや保育士の不足(事業所の専門化でもいい)?乳幼児より最近気になるのは、学校の児童生徒です。・学習についていけないので検査をすすめられた・休みがちで進級が心配・学校の門からやっと保健室登校が出来るようになった・塾や体操クラブは行くが、学校の担任が怖いので…など不登校や学習に関する事で相談され、検査後場合によっては学校に情報提供に行くことも多いのですが…心配です。</p>
68	<p>保育所、幼稚園での障害児保育を充実できるような施策を整えてほしい。地域によって障害児が保育所に入所できる要件に格差がある(就労が条件になるかならないかなど)そのために、待機児童対策と併せて取り組んでほしい。</p>

69	成田市では、いわゆる子育て支援を「健康増進課」でおこなっていますが、発達障がいのある子どもの支援は「こども発達支援センター」でおこなっています。当市では、気になる子へは、健康増進課での母子教室の様子をみて、発達障害の疑いが濃くなれば、「こども発達支援センター」へ通所を紹介、促していきます。担当課同志の連携と情報提供のあり方について、ケースバイケースでやっていますが、難しいと思う時があります。ex 保護者が、対応する職員に対し、それぞれに違う意見・考え方を話し、どこに本音があるのかわからなかったりすることがある。
70	小児発達障害の医療につなげる際に、専門医が不足していて、予約状況も(病院によって)4~10ヶ月先になってしまうという現実があり、医療体制の充実が求められています。
71	・当市では、子ども家庭相談センターを実務担当とし、0才(妊娠期からフォローする)~中学3年生までの「養育・発達の課題への支援体制を構築し、保健・福祉・教育」の連携をとっています。・課題は「専門医療の不足」「幼・保現場での加配保育士制度がないために、市の単独事業での配置が極端に少ない」・私立幼稚園のみの市であるため、人材育成が進みにくい。・義務教育までの支援連携はある程度できているが、圏域にまたがる高校以降の機関連携については、保護者同意がないとできないため、二次障害に陥っているお子さんの支援等、進みにくい。
72	ペアレントトレーニングは、保育士等が学ぶことにより、日々の保育に生かされることが多く、困っている子ども達への支援を保護者と共に進められると考えます。
73	<発達障がいに関して>乳幼児期から小学校までの発達障がいに対しての理解や支援が進んできているが、中学校、高等学校、またそれ以降の理解や支援においては、2次障がい等も加わり、課題が多く、難しさを感じている。・義務教育以降の発達障がいの受け皿の場が少ないと感じている(不登校や引きこもりを含む)・小児、成人ともに発達障がいの専門医が少ない。・子どもの実態を見ていると、今後、就労において困難さをもっていくと思われる子が増加していくのではないと思う。企業への理解や啓発を積極的に進める必要性を感じる。
74	ペアレント・プログラムやペアレント・トレーニングの情報(ノウハウを含めた)があれば積極的に入手したいと考えています。
75	問4の回答4について。当市では現在支援者向けの研修を行っております。設問では、母親向け講演会となっておりますが、今後保護者向けの講演会を検討していきたいと考えております。
76	市町村の財政は逼迫しており、人的にも物的にも市での単独での実施は容易ではない。国の政策として、財政の補完(補助金等)をぜひお願いしたいところです。
77	発達が気になる子どもは、年々増えている感じがあり、親の未熟さも加わって、育てづらい子どもとして虐待につながってしまうケースも少なくなく、行政としては問題意識はあるものの、マンパワー不足、連携体制が不十分などがあり、進んでいません。
78	・特別支援が必要な子どもへの通学支援について、具体的な施策が必要。・教育機関も含めた早期の専門的支援により、家族を巻き込んだ障害受容の機会がもてるような取組が必要。
79	平成24年度に県と共催で実施した。継続実施を検討したが、費用対効果の面で継続実施は断念した。しかし、親支援に有用だと感じる部分も多く、どうにか母子保健事業の中で実施できないかと検討し、既に実施していた発達支援教室のなかで形を変えて実施している。また、保健師の個別相談でもそのエッセンスを利用しながらアドバイスできることもあり、単発事業となったが、人材育成となった。実施して感じたことは、保健部門だけで実施するのではなく、障害部門、子育て部門(保育所や幼稚園含む)で連携することでより必要な家庭に、より効果的に支援ができると思った。
80	・平塚市こども家庭課こども発達支援室では2年半前から保護者を対象としたペアレントトレーニングを行っています。現在第5期生が終了しました。全10回半年で行っています。40名の方が終了し、終了後のフォローアップ教室では今までの方みんなに来て頂いての復習と懇談会をしております。27年度は受講希望者が多いので全10回を8回にし、年2回行っていたものを年3回に増やす予定です。各回10名の定員で20名から30名に増やす予定です。初めは表情が固かったり、悩んでいた方々が、終了の頃には変化が見られ、親子関係が良くなったと聞きます。ペアトレは今後、保護者、支援者、更には小学校の先生、広く知って欲しい大切なものと現場にいる職員として感じています。平塚市として今後も広めていきたいと思って居ます。また、平塚市として先生達向けのティーチャーズ研修も行っています。多くの人にペアトレを知ってもらいたいと考えています。是非、今後共、色々な勉強をしたいと思っています。
81	・発達障害児への支援について、児童発達支援センター及び民間の放課後等デイサービス事業所での支援を行っています。しかし、現状では支援機関の不足もあり、今後、体制についての構築も課題となっています。

82	<p>・障害のある子どもを抱える親の要望は、休日や学校の長期休暇中に預かってもらえる事業所が少ないので増やして欲しいということが大半をしめている。・新たに事業を始めようというところがあれば、本市としては歓迎したいが、障害児関係の新規参入はめったに無いのが現実である。・共働き等により、家庭での保育が難しい場合は別として、一定のレスパイト以上に施設や事業所に預けようとする親の子育て力の低下をなんとかしたいという思いもあるが、子どもとの関り方を学ぼうとする親は、ごく一部に限られ、本当にそういうことが必要な家庭は他にある状況である。・支援を必要とする子どもの早期発見は進んでいるが、療育や教育の受け皿が不足している状況の改善は必要だが、保護の意識を変えるのはもっと困難さを感じる。・両方がバランスよくならなければ、親だけでなく障害児関係の療育事業所、就学前施設、教育機関等の疲弊も大きくなる一方と思われる。</p>
83	<p>・発達障がいと診断がつき専門機関につながっている場合はまだ良いが、そこまでではなく、しかし集団場面等で困っているケースについて保護者や児を支援する受け皿がない。・保育所等の現場、保健、福祉、教育のつながりが不可欠であるが、人員不足やこれまでの関係性等もあり、それぞれが独立してつながりが十分に持てていない。</p>
84	<p>①ペアレントトレーニングについては、発達障害の早期発見と対応を担う保健部門の子ども発達相談センターで保護者支援の一貫として導入している。②また、発達障害の可能性のある子どもへの療育機関(児童発達支援センター事業)にも導入を始めたところである。これは各施設の判断によるものである。③子育て支援部門では、発達が気になる子どもや発達障害の疑いのある子どもと保護者に対して、保護者支援のためのグループ指導と子どもへの療育的取組を担当しているが、ここではまだ組織的にはペアレント・プログラムの導入ははかれていない。一般の子育て支援の取組の中でも導入はされていない。上記①(保健)②(障害)③(子育て支援)が異なる部署で取り組まれていて、自治体としての統一した取組にはなっていない点が課題である。</p>
85	<p>[健康支援課]相談機関の受け皿が少なく、相談待機の期間が長期になっている現状があります。発達が診れる小児科医を育てていく養成するための取り組みが求められます。小児科での支援が可能になると、児の発達に不安を抱える保護者の早期支援ができ困り感への対応を必要な時期に提供することにつながると考えています。[子ども課]現在宮崎県と宮崎市において、宮崎大学立元准教授による「ペアレント・トレーニング」の養成講座を実施している。(宮崎県延べ100名、宮崎市22名受講)徐々に認知されてきており、受講希望も増えてくるのではないかと考えられる。しかし、受講する時間や受講後に教室を開催することが難しい状況もあるので、周囲の協力理解などフォロー体制を築くことが必要であると考えられる。</p>
86	<p>子育て支援はハード面(例:保育所の整備)の整備も重要であるが育児を支える(育児している保護者を支える)マンパワー(専門職)を重要視した国の政策が必要。保護者がしんどくても育児の楽しさや充足感をかんじられるような支援には専門性のある人材が必要。</p>
87	<p>遺伝や病的な関係もあるとは思われるが、兄弟等で発達障害を持っている場合が割と多いと思われる。その原因として、親の子育てや環境が十分でないことも想定できるので、親の子育て能力の向上等に取組むことにより、境界上のこどもの発達をうながすことにつながると思われる。</p>
88	<p>本市として、療育センターに常勤医師が配置されていないこと。行政職員や社会福祉の専門職員が不足していることが課題と感じています。また、ペアレント・トレーニングに関しては、現在、当センターを利用中の保護者を対象に実施していますが、今後、幼稚園、保育園等や一般市民の保護者へ対象を広げていくことが課題と感じています。</p>
89	<p>神戸市では、児童だけでなく、青年期の発達障害者をもつ家族を対象にしたペアレントトレーニングも実施しています。受講された方からは「子供とのコミュニケーションで悩み続けていたが解消された」「行動の結果ばかり見て対立することも多かったが、行動の前後に着目し関わり方を変えただけで親子関係に大きな変化があった」などの感想をいただいております。ペアレントトレーニングは、その効果もさることながら、同じ悩みを持つ親同士が集まり、情報交換をする場としても役立っています。また、青年期まで発達障害と診断されず子供との関わりに悩み続けていた家族にとっては貴重な機会となっていると感じています。発達障害についての理解が広まり、大人になってから発達障害と診断される方も増加しているため、青年期の発達障害者とその家族への支援の必要性も増していると感じます。</p>
90	<p>・ペアレント・トレーニング等の親支援講座を25年度から実施している。参加前後に実施しているアンケートから参加者に効果があることは明らかになっている。応募すると定員より多くの方から受講希望があり、受講待ちの人が発生している状態である。実施クール数を増やしていく必要があるが、トレーナーができる人材が希薄で、トレーナーの養成が急務である。・26年度からは市民が身近な場所で受けられるよう、区役所での開催を試みている。全24区中、26年度は6区で実施。27年度は12区で実施予定である。</p>

## ペアレント・プログラム アンケート

ご協力いただくアンケートの結果は、ペアレント・プログラムに関するこのみに使用され、他の目的での使用はいたしません。ご記入いただいた内容のうち、保護者の方・お子さまのお名前など個人情報は匿名化され、数値データとして処理されますのでご安心ください。

ペアレント・プログラムの効果検証と今後の普及発展のために活用させていただきますので、主旨ご理解の上、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### <アンケート内容>

- ・調査の説明、同意書の本紙 1部
- ・参加者の方の元気さアンケート (BDI-II) 1部
- ・参加者の子育てに関するアンケート
- ・お子さんの生活の様子アンケート  
4-16歳用, あるいは入園前3-4歳用 各1部



### ◇アンケート用紙の回答方法

ペアレント・プログラム 1 回目の開始前に、ご回答いただき、担当の方に預けてください。良し悪しを判断するためのものでなく、ありのままの現状を把握するためのものですので、思われた通りにご回答いただけますと幸いです。尚、アンケート調査に同意されない方の場合でも、受けられる支援サービスに変化はございません。

### 調査協力への同意書

(ご氏名) \_\_\_\_\_ は、

主旨理解のうえ、アンケート調査に同意します。

同意する / 同意しない

ご記入年月日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

会場コード： \_\_\_\_\_

## ペアレントプログラム講座 コース前のアンケート

会場コード ( )

日時 年 月 日

・お名前 ( )

・年齢 ( ) 歳

・職業 ①常勤 ②非常勤(パートタイムを含む) ③専業主婦 ④その他

(1)この講座はどこで知りましたか。当てはまるものに○をつけてください。

①チラシ ( ) でみかけた)

②直接誘われた (どなたですか? )

③その他 ( )

(2)今回のような育児に関する講座を以前に受講されたことはありますか?

①はい.....どこで ( )  
いつごろ( )

②いいえ

(3)ペアレントプログラム講座に参加してみようとおもわれたきっかけや理由を教えてください。

(4)日ごろの子育てで難しいと感じていらっしゃることはどのようなことですか。

(5)ペアレントプログラム講座でどのようなことを期待していますか。



(6)お子さんの年齢・性別をお書きください。

・お子さんの年齢, 性別 1( ) 歳 男・女

2( ) 歳 男・女

3( ) 歳 男・女

ここに書かれた内容は、このペアレントトレーニングに関する以外に使用されることはなく、外部にもれることはありません。

ペアレントプログラム講座 コース前のアンケート

下記の内容について、もっとも当てはまるところに○を記入してください。

とてもそう思う

少しそう思う

どちらともいえない

あまりそうではない

まったくそうではない

1	私の子どものいいところを具体的に10個程度あげることができる。				
2	子どもの話をできるだけ聞くようにしている。				
3	この頃、子育てが難しくなってきたと感じる。				
4	私の子どもは、育てやすい子どもだと思う。				
5	子どものことについて考えないようにしている。				
6	子どもといっしょに遊びにでかける。				
7	子育てで困ったときは、自分の配偶者や親に相談している。				
8	この頃、子どもが親の言うことを聞かなくなってきた。				
8	育児が楽しいと思う。				
10	子どもを叱ることが多い。				
11	子どもとできるだけ長くいっしょに過ごすようにしている。				
12	最近、子どもが何を考えているか分からない。				
13	私の子どもは、育てにくい子どもだと思う。				
14	私の子どものがんばっているところ(努力しているところ)が具体的に10個程度あげることができる。				
15	子どもといっしょに図書館に出かける。				
16	子育てで困ったときに、相談する相手がいなくて苦勞することがある。				
17	育児が辛いと思う。				
18	子どもが言うことを聞かない場合、おどかしたりするような強い厳しい叱り方を する。				
19	子どもの学習課題(幼児教材)などをみてやるようにしている。				
20	最近、子どもの成長が楽しみになってきた。				
21	私の子どもは、とてもかわいい。				
22	子どもをほめることが多い。				
23	私は自分の教育方針に自信がある。				
24	子育てで困ったときは、自分の友人たちに相談している。				
25	私の子どもは時々かわいくなくなる。				
26	私の子育てはかなりうまくいっていると思う。				
27	この頃、子どもを頼もしく思うことが多い。				
28	子どもが言うことを聞かない場合、叩いたりなどの強い厳しい叱り方を する。				
29	子どもといっしょにコンサートや展覧会などに行ったりする。				
30	私の子どもは私が気になる行動(あるいは私を怒らせる行動)をすることが多 い。				

## ＜お子さんの生活の様子アンケート＞ 3歳～入園前用

以下のそれぞれの質問項目について、あてはまらない、まああてはまる、あてはまる、のいずれかのボックスにチェックをつけてください（例：☑）。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのお子さんのここ半年くらいの行動について答えてください。

お子さんのお名前（ひらがな）： \_\_\_\_\_（男・女）

お子さんの誕生日（年齢）： \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日（ \_\_\_\_\_才）

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
他人の気持ちをよく気づかう	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
おちつきがなく、長い間じっとしてられない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
頭がいたい、お腹がいたい、気持ちが悪いなどと、よくうったえる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の子どもたちと、よく分け合う（おやつ・おもちゃ・鉛筆など）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カッとなったり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一人でいるのが好きで、一人で遊ぶことが多い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
素直で、だいたいは大人のいうことをよくきく	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
心配ごとが多く、いつも不安なようだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
いつもそわそわしたり、もじもじしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
仲の良い友だちが少なくとも一人はいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
よく他の子とけんかをしたり、いじめたりする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
おちこんでずんできていたり、涙ぐんでいたりすることがよくある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の子どもたちから、だいたいは好かれているようだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
すぐに気が散りやすく、注意を集中できない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
目新しい場面に直面すると不安ですがりついたり、すぐに自信をなくす	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
年下の子どもたちに対してやさしい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
よく大人に対して口答える	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自分からすすんでよく他人を手伝う（親・先生・子どもたちなど）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
よく考えてから行動することができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の人に対していじわるをする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の子どもたちより、大人という方がうまくいくようだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
こわがりで、すぐにおびえたりする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ものごとを最後までやりとげ、集中力もある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ご協力ありがとうございました。



## ＜お子さんの生活の様子アンケート＞ 4-16 歳用

以下のそれぞれの質問項目について、あてはまらない、まああてはまる、あてはまる、のいずれかのボックスにチェックをつけてください（例：☑）。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのお子さんのここ半年くらいの行動について答えてください。

お子さんのお名前（ひらがな）： \_\_\_\_\_（男・女）

お子さんの誕生日（年齢）： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日（ \_\_\_\_\_ 才）

あてはまらない      まああてはまる      あてはまる

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
他人の気持ちをよく気づかう	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
おちつきがなく、長い間じっとしてられない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
頭がいたい、お腹がいたい、気持ちが悪いなどと、よくうったえる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の子どもたちと、よく分け合う（おやつ・おもちゃ・鉛筆など）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カッとなったり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一人でいるのが好きで、一人で遊ぶことが多い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
素直で、だいたい大人のいうことをよくきく	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
心配ごとが多く、いつも不安なようだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
いつもそわそわしたり、もじもじしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
仲の良い友だちが少なくとも一人はいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
よく他の子とけんかをしたり、いじめたりする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
おちこんでしずんでいたり、涙ぐんでいたりすることがよくある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の子どもたちから、だいたい好かれているようだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
すぐに気が散りやすく、注意を集中できない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
目新しい場面に直面すると不安ですがりついたり、すぐに自信をなくす	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
年下の子どもたちに対してやさしい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
よくうそをついたり、ごまかしたりする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自分からすすんでよく他人を手伝う（親・先生・子どもたちなど）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
よく考えてから行動する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
家や学校、その他から物を盗んだりする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の子どもたちより、大人という方がうまくいくようだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
こわがりで、すぐにおびえたりする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ものごとを最後までやりとげ、集中力もある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ご協力ありがとうございました。

## ペアレント・プログラム 終了後のアンケート

ペアレント・プログラムにご参加いただき、ありがとうございました。プログラムの効果検証と今後の普及発展のため、アンケートのご協力をお願いいたします。

アンケートの結果は、ペアレント・プログラムに関することのみに使用し、他の目的での使用はいたしません。ご記入いただいた内容のうち、保護者・お子さまのお名前など個人情報は匿名化され、数値データとして処理いたします。今回ご記入いただく“お名前”は、プログラム実施前にご回答いただいた調査結果と照合するためのみに用いられます。個人の良し悪しを判断するためのものではなく、プログラムの効果や今後の課題を知るためのものですので、思われた通りにご回答いただけますと幸いです。

主旨ご理解の上、ご協力のほどよろしくをお願いいたします。

### <アンケート内容>

#### ◎ペアレント・プログラム アンケート 1部

- 1 参加者ご自身のことや参加状況について
- 2 プログラムに関する感想等
- 3 参加者の子育てに関するアンケート
- 4 お子さんの生活の様子アンケート

〔入園前3-4歳用〕あるいは〔4-16歳用〕

（お子さんの年齢に合わせて、どちらかをご回答ください）

#### ◎参加者の方の元気さアンケート（BDI-II） 1部



### <アンケート用紙の回答・提出方法>

ペアレント・プログラム6回目の終了後、一週間以内にご回答ください。  
回答後は調査セットを封筒に入れ、ポストにご投函ください。

#### 調査協力への同意書

（ご氏名） \_\_\_\_\_ は、

主旨理解のうえ、アンケート調査に同意します。

同意する / 同意しない

ご記入年月日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日



あなたの子育てに関するお気持ちについて、  
最も近い答えに○をつけてください。

とてもそう思う

少しそう思う

どちらともいえない

あまりそうではない

まったくそうではない

【現在、人きょうだいの子どもを育てている】  
きょうだいがいる場合お答えください。【本児は、上から 人目】

1	私の子どものいいところを具体的に10個程度あげることができる。				
2	子どもの話をできるだけ聞くようにしている。				
3	この頃、子育てが難しくなってきたと感じる。				
4	私の子どもは、育てやすい子どもだと思う。				
5	子どものことについて考えないようにしている。				
6	子どもといっしょに遊びに出かける。				
7	子育てで困ったときは、自分の配偶者や親に相談している。				
8	この頃、子どもが親の言うことを聞かなくなってきた。				
9	育児が楽しいと思う。				
10	子どもを叱ることが多い。				
11	子どもとできるだけ長くいっしょに過ごすようにしている。				
12	最近、子どもが何を考えているか分からない。				
13	私の子どもは、育てにくい子どもだと思う。				
14	私の子どものがんばっているところ(努力しているところ)が具体的に10個程度あげることができる。				
15	子どもといっしょに図書館に出かける。				
16	子育てで困ったときに、相談する相手がなくて苦労することがある。				
17	育児が辛いと思う。				
18	子どもが言うことを聞かない場合、おどかしたりするような強い厳しい叱り方をする。				
19	子どもの学習課題(幼児教材)などをみてやるようにしている。				
20	最近、子どもの成長が楽しみになってきた。				
21	私の子どもは、とてもかわいい。				
22	子どもをほめることが多い。				
23	私は自分の教育方針に自信がある。				
24	子育てで困ったときは、自分の友人たちに相談している。				
25	私の子どもは時々かわいくなる。				
26	私の子育てはかなりうまくいっていると思う。				
27	この頃、子どもを頼もしく思うことが多い。				
28	子どもが言うことを聞かない場合、叩いたりなどの強い厳しい叱り方をする。				
29	子どもといっしょにコンサートや展覧会などに行ったりする。				
30	私の子どもは私が気になる行動(あるいは私を怒らせる行動)をすることが多い。				

ペアレント・プログラムの感想（参加者のみなさま）

1. 今回のプログラムの満足度についてお答えください。（☑をつけてください。）

とても満足 満足 不満 とても不満

2. ペアプロに参加したことで、お子さんへの関わり方について良かったこと・気づいたことはありますか？ 思いつくことをご自由にお書きください。

3. ペアプロに参加したことで、あなた自身について良かったこと・気づいたことはありますか？ 思いつくことをご自由にお書きください。

4. ペアプロで取り上げる内容・テーマは、満足されるものでしたか？（☑を付けてください。）

とてもよかった まあよかった どちらでもない あまりよくなかった とてもよくなかった

プログラムの内容について、ご感想やご要望などがございましたらご自由にお聞かせください。

5. 参加者同士でペアになって話し合ったり、発表したりしたことはいかがでしたか？

（☑を付けてください。）

とてもよかった まあよかった どちらでもない あまりよくなかった とてもよくなかった

ペアの話し合いや発表についてご意見やご感想がありましたら、ご自由にお書きください。

6. 実施会場や実施時間等についてはいかがでしたか？（☑を付けてください。）

とてもよかった まあよかった どちらでもない あまりよくなかった とてもよくなかった

実施会場や実施時間などについて、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

## ＜お子さんの生活の様子アンケート＞ 3歳～入園前用

以下のそれぞれの質問項目について、あてはまらない、まああてはまる、あてはまる、のいずれかのボックスにチェックをつけてください（例：☑）。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのお子さんのここ半年くらいの行動について答えてください。

お子さんのお名前（ひらがな）： \_\_\_\_\_（男・女）

お子さんの誕生日（年齢）： \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日（ \_\_\_\_\_才）

		まあ あてはまる	あてはまる
他人の気持ちをよく気づかう	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
おちつきがなく、長い間じっとしてられない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
頭がいたい、お腹がいたい、気持ちが悪いなどと、よくうったえる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の子どもたちと、よく分け合う（おやつ・おもちゃ・鉛筆など）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カッとなったり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一人でいるのが好きで、一人で遊ぶことが多い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
素直で、だいたいは大人のいうことをよくきく	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
心配ごとが多く、いつも不安なようだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
いつもそわそわしたり、もじもじしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
仲の良い友だちが少なくとも一人はいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
よく他の子とけんかをしたり、いじめたりする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
おちこんでずんでいたり、涙ぐんでいたりすることがよくある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の子どもたちから、だいたいは好かれているようだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
すぐに気が散りやすく、注意を集中できない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
目新しい場面に直面すると不安ですがりついたり、すぐに自信をなくす	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
年下の子どもたちに対してやさしい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
よく大人に対して口答える	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自分からすすんでよく他人を手伝う（親・先生・子どもたちなど）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
よく考えてから行動することができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の人に対していじわるをする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の子どもたちより、大人という方がうまくいくようだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
こわがりで、すぐにおびえたりする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ものごとを最後までやりとげ、集中力もある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ご協力ありがとうございました。

## ＜お子さんの生活の様子アンケート＞ 4-16 歳用

以下のそれぞれの質問項目について、あてはまらない、まああてはまる、あてはまる、のいずれかのボックスにチェックをつけてください（例：☑）。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのお子さんのここ半年くらいの行動について答えてください。

お子さんのお名前（ひらがな）： \_\_\_\_\_（男・女）

お子さんの誕生日（年齢）： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日（ \_\_\_\_\_ 才）

あてはまらない      まああてはまる      あてはまる

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
他人の気持ちをよく気づかう	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
おちつきがなく、長い間じっとしてられない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
頭がいたい、お腹がいたい、気持ちが悪いなどと、よくうったえる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の子どもたちと、よく分け合う（おやつ・おもちゃ・鉛筆など）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カッとなったり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一人でいるのが好きで、一人で遊ぶことが多い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
素直で、だいたい大人のいうことをよくきく	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
心配ごとが多く、いつも不安なようだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
いつもそわそわしたり、もじもじしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
仲の良い友だちが少なくとも一人はいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
よく他の子とけんかをしたり、いじめたりする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
おちこんでしずんでいたり、涙ぐんでいたりすることがよくある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の子どもたちから、だいたい好かれているようだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
すぐに気が散りやすく、注意を集中できない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
目新しい場面に直面すると不安ですがりついたり、すぐに自信をなくす	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
年下の子どもたちに対してやさしい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
よくうそをついたり、ごまかしたりする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自分からすすんでよく他人を手伝う（親・先生・子どもたちなど）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
よく考えてから行動する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
家や学校、その他から物を盗んだりする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の子どもたちより、大人という方がうまくいくようだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
こわがりで、すぐにおびえたりする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ものごとを最後までやりとげ、集中力もある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ご協力ありがとうございました。

ペアレント・プログラムのアンケート（研修参加スタッフの方）

ペアレント・プログラム（ペアプロ）へのご参加ありがとうございます。今後、各地域にペアプロを普及していくにあたり、ペアプロの研修に関するご意見をいただければ幸いです。

ご多忙の中、誠に恐縮ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

会場コード： \_\_\_\_\_ お名前 \_\_\_\_\_ ・性別 男・女 年齢・ \_\_\_\_\_ 歳  
勤務・所属機関 公立・民間（ \_\_\_\_\_ ）  
資格など \_\_\_\_\_ 職名 \_\_\_\_\_ 支援相談年数 \_\_\_\_\_ 年  
ペアプロへの参加経験 今シリーズがはじめて・2回目・3回以上

1. ペアプロ研修に参加されようと思われた動機・きっかけがございましたらご記入ください。

2. ペアプロ研修への参加にあたり、日常の業務における家族支援に関してお困りの点がありましたらご記入ください。

3. 今回の研修に参加されるにあたって、所属機関での扱いについて教えてください。

業務（勤務）扱い、出張研修、自費による私的参加、その他（ \_\_\_\_\_ ）

4. また、研修に参加されるにあたっての問題点などがありましたら可能な範囲で教えてください。



ペアレントプログラム講座 研修参加者用コース前のアンケート

下記の内容は、日常の相談支援業務について書かれたの内容です。  
今の感覚に、もっとも当てはまるところに○を記入してください。

		とてもそう思う	少しそう思う	どちらともいえない	あまりそうではない	まったくそうではない
1	相談に来た保護者や子どもの、ポジティブな側面(いいところ)の見つけ方や判断基準などの考え方が説明できる。					
2	子どもへのほめ方やほめるポイントが、保護者に対して説明できる。					
3	保護者同士がペアやグループになっての話し合いや意見交換する場面中で、支援者が注意すべき点が分かる。					
4	相談に来た保護者や子どもの、困った行動・できない行動とはどういうものか、説明できる。					
5	支援者として、保護者の自信のなさや気持ちの落ち込みなどへのサービスを提供できそうである。					
6	子どもの発達特徴を“行動”で整理する際の、注意ポイントがいくつか説明できる。					
7	発達の特徴や相談内容を、特定の共通テーマ(たとえば言語表現、食事、感情調節等)から整理する意義を説明できる。					
8	支援者として、保護者に関わる自信がある。					
9	保護者や子どもの、困った行動・問題行動の背後にあるポジティブなよい部分を見つけることができる。					
10	相談に来る保護者のメンタルヘルスについて、支援者が注意すべき点が分かる。					
11	発達の段階や個人差について、説明できる。					
12	子どもの発達特徴を整理するためには、“行動”で考える意義を説明できる。					
13	支援者として、保護者の子どもへの関わりを理解し整理するためのサービスが提供できそうである。					
14	困った行動を取り上げる時に、行動の背景にある状況を詳しくみるようなことを提案できる。					
15	保護者や子どものポジティブな側面を、保護者自身が見つかることがなぜ重要なのかを、説明できる。					

ご協力、まことにありがとうございました。

## ペアレント・プログラムのアンケート（研修参加スタッフの方）

ペアレント・プログラム（ペアプロ）研修へのご参加ありがとうございました。今後、各地域にペアプロを普及していくにあたり、ペアプロの研修に関するご意見をいただければ幸いです。ご記入いただいた個人情報は、匿名化した情報のみを扱い、個人名が外部に出ることは一切ございません。今回ご記入いただく“お名前”は、ペアプロ研修実施前にご回答いただいた調査結果と照合するためのみに用いられます。主旨ご理解の上、ご協力のほどお願い申し上げます。

会場コード： _____	お名前： _____	男・女 _____	歳 _____
勤務・所属機関 公立・民間（名称： _____）			
資格： _____	職名： _____	支援相談年数： _____	年 _____

1. 今回のペアプロ研修の、参加された回に☑をしてください。

1回目 2回目 3回目 4回目 5回目 6回目

2. ペアプロが取り上げる内容・テーマは、職員の方向けの研修として満足できるものでしたか？  
(☑を付けてください。)

とてもよかった まあよかった どちらでもない あまりよくなかった とてもよくなかった  
職員研修の視点から、ペアプロの中身・テーマについて、ご感想やご要望がなどございましたらご自由にお聞かせください。

3. ペアプロが取り上げる内容・テーマは、保護者のサポートとして役立つものでしたか？  
(☑を付けてください。)

とてもよかった まあよかった どちらでもない あまりよくなかった とてもよくなかった  
保護者支援の視点から、プログラムの中身・テーマについてご感想やご意見がございましたらご自由にお聞かせください。

4. 今回の研修後、職場でのペアプロの活用の予定がありましたらお教えてください。あてはまる活動の全てに☑をつけてください。

①ペアプロの報告会（計1～2時間程度）を職場で実施。

実施したことがある。

予定・計画している。

予定・計画はないが、してみたい希望がある。

特に考えていない。

- ②ペアプロの勉強会（計2～3時間以上）を職場で実施。
- 実施したことがある。
  - 予定・計画している。
  - 予定・計画はないが、してみたい希望がある。
  - 特に考えていない。
- ③職場内（訪問先等含む）において、個別で保護者向けに、ペアプロの実施。
- 実施したことがある。
  - 予定・計画している。
  - 予定・計画はないが、してみたい希望がある。
  - 特に考えていない。
- ④職場内（訪問先等含む）において、グループで保護者向けに、ペアプロの実施。
- 実施したことがある。
  - 予定・計画している。
  - 予定・計画はないが、してみたい希望がある。
  - 特に考えていない。
- ⑤職場内（訪問先等含む）の保護者相談などにおいて、ペアプロのワークの一部を活用。
- 活用したことがある。
  - 予定・計画している。
  - 予定・計画はないが、してみたい希望はある。
  - 特に考えていない。
- ⑥職場内（訪問先等含む）においてペアプロのワークは実施しないが、ペアプロ的な考え方やアプローチを保護者相談で活用。
- 活用したことがある。
  - 予定・計画している。
  - 予定・計画はないが、してみたい希望はある。
  - 特に考えていない。
- ⑦職場内（訪問先等含む）においてペアプロのワークは実施しないが、ペアプロ的な考え方やアプローチを職員間の情報共有や職員指導などで活用。
- 活用したことがある。
  - 予定・計画している。
  - 予定・計画はないが、してみたい希望はある。
  - 特に考えていない。
- ⑧他の機関と連携してペアプロの開催。
- 実施したことがある。
  - 予定・計画している。
  - 予定・計画はないが、してみたい希望はある。
  - 特に考えていない。

5. 研修に参加されるにあたっての、所属先の事前調整などで問題点や要望などがございましたら、可能な範囲で教えてください。

--

6. 見学者としてのペアプロ研修ではなく、司会やグループの仕切りなど主体的な役割のためのペアプロ研修の機会があれば参加の希望がありますか。(☑をつけてください)

ぜひ都合をつけて参加する。

タイミングよく、時間の余裕があれば参加する。

参加の予定はない。

7. 今回のプログラムの満足度についてお答えください (☑をつけてください)。

とても満足 満足 不満 とても不満

ペアレントプログラム講座 研修参加者用コース前のアンケート

下記の内容は、日常の相談支援業務について書かれたの内容です。  
今の感覚に、もっとも当てはまるところに○を記入してください。

		とてもそう思う	少しそう思う	どちらともいえない	あまりそうではない	まったくそうではない
1	相談に来た保護者や子どもの、ポジティブな側面(いいところ)の見つけ方や判断基準などの考え方が説明できる。					
2	子どもへのほめ方やほめるポイントが、保護者に対して説明できる。					
3	保護者同士がペアやグループになっての話し合いや意見交換する場面中で、支援者が注意すべき点が分かる。					
4	相談に来た保護者や子どもの、困った行動・できない行動とはどういうものか、説明できる。					
5	支援者として、保護者の自信のなさや気持ちの落ち込みなどへのサービスを提供できそうである。					
6	子どもの発達特徴を“行動”で整理する際の、注意ポイントがいくつか説明できる。					
7	発達の特徴や相談内容を、特定の共通テーマ(たとえば言語表現、食事、感情調節等)から整理する意義を説明できる。					
8	支援者として、保護者に関わる自信がある。					
9	保護者や子どもの、困った行動・問題行動の背後にあるポジティブなよい部分を見つけることができる。					
10	相談に来る保護者のメンタルヘルスについて、支援者が注意すべき点が分かる。					
11	発達の段階や個人差について、説明できる。					
12	子どもの発達特徴を整理するためには、“行動”で考える意義を説明できる。					
13	支援者として、保護者の子どもへの関わりを理解し整理するためのサービスが提供できそうである。					
14	困った行動を取り上げる時に、行動の背景にある状況を詳しくみるようなことを提案できる。					
15	保護者や子どものポジティブな側面を、保護者自身が見つかることがなぜ重要なのかを、説明できる。					

ご協力、まことにありがとうございました。

ペアレント・プログラムのアンケート（運営者の方）

この度は、ペアレント・プログラム（ペアプロ）を管理運営していただき、ありがとうございました。今後、各地域にペアプロを普及していくにあたり、ペアプロ研修の運営に関するご意見をいただければ幸いです。ご多忙の中、誠に恐縮ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ご記入いただいている方について

会場コード：\_\_\_\_\_ お名前：\_\_\_\_\_ 性別：男・女 年齢：\_\_\_\_\_ 歳

勤務・所属機関：公立・民間（名称：\_\_\_\_\_）

資格：\_\_\_\_\_ 職名：\_\_\_\_\_ 支援相談年数：\_\_\_\_\_ 年

ペアプロへの参加経験：今回を含めて〔 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ \_\_\_\_\_ 〕回目

1. ペアプロが取り上げる内容・テーマは、現場職員の方むけの研修として満足できるものでしたか？（を付けてください。）

とてもよかった まあよかった どちらでもない あまりよくなかった とてもよくなかった  
職員研修の視点から、ペアプロの中身・テーマについて、ご感想やご要望がなどございましたらご自由にお聞かせください。

2. ペアプロが取り上げる内容・テーマは、保護者のサポートとして役立つものでしたか？（を付けてください。）

とてもよかった まあよかった どちらでもない あまりよくなかった とてもよくなかった  
保護者支援の視点から、ペアプロの中身・テーマについて、ご感想やご要望がなどございましたらご自由にお聞かせください。

3. ペアプロ研修は、近隣地域のサポートとして役立つものでしたか？（を付けてください。）

とてもよかった まあよかった どちらでもない あまりよくなかった とてもよくなかった  
地域の特徴とペアプロのつながりについて、ご感想やご意見がございましたら、ご自由にお聞かせください。

4. 研修参加者（研修生）の募集にあたり、ご感想・ご意見がございましたらご自由にお聞かせください。

5. 参加者（保護者）の募集にあたり、ご感想・ご意見がございましたらご自由にお聞かせください。

6. ペアプロ実施期間中における、参加者（保護者）への情報提供や出欠管理等のサポートにあたり、ご感想・ご意見等がございましたらご自由にお聞かせください。

7. 会場の選択・設営等の事前準備で、ご感想・ご意見がございましたらご自由にお聞かせください。

8. ペアプロ開催準備や実施にともなう、他の公的機関/民間法人との調整や情報のやりとりについて、ご感想・ご意見がございましたらご自由にお聞かせください。

9. その他、研修生や参加者（保護者）へのサービスで、今後のペアプロに向け、ご要望やご意見等がありましたらご自由にお聞かせください。

10. 来年度以降、本プログラムを実施するための目安として、ご教授ください。実施に際して、管理運営に関わる団体が負担なされた費用はありましたか。全く負担がなければ〇、負担なされた部分があれば、その費用をご記入ください。（講師に関わる費用は含みません）

- |                                     |       |     |
|-------------------------------------|-------|-----|
| 1 会場費                               | _____ | 円程度 |
| 2 人件費（事前準備）                         | _____ | 円程度 |
| 3 人件費（当日）                           | _____ | 円程度 |
| 4 広報費（送料含む）                         | _____ | 円程度 |
| 5 その他（上記以外に費用がかかったものがありましたらご記入ください） |       |     |
| * _____                             | _____ | 円程度 |
| * _____                             | _____ | 円程度 |
| * _____                             | _____ | 円程度 |

11. 実施に際して、運営、準備、調整などで拘束された時間はどの程度ありましたか。全く拘束された時間がなければ〇、拘束された時間があれば、その時間をお答えください。（プログラム当日を除く）

- |                                 |       |      |
|---------------------------------|-------|------|
| 1 関係機関との調整                      | _____ | 時間程度 |
| 2 参加者とのやり取り                     | _____ | 時間程度 |
| 3 所属内での準備、打ち合わせ                 | _____ | 時間程度 |
| 4 その他（上記以外に行った内容がありましたらご記入ください） |       |      |
| * _____                         | _____ | 時間程度 |
| * _____                         | _____ | 時間程度 |
| * _____                         | _____ | 時間程度 |

12. ペアプロ研修の管理運営を経験されて、地域でのペアプロの活用の予定がありましたら、お教えてください。あてはまる活動の全てに☑をつけてください。

①ペアプロの報告会（計1～2時間程度）を実施する。

- 実施したことがある。  
予定・計画している。  
予定・計画はないが、してみたい希望がある。  
特に考えていない。

②ペアプロの勉強会（計2～3時間以上）を実施する。

- 実施したことがある。  
予定・計画している。  
予定・計画はないが、してみたい希望がある。  
特に考えていない。

③職場内（訪問等含む）において、個別で保護者むけに、ペアプロを実施する。

- 実施したことがある。  
予定・計画している  
予定・計画はないが、してみたい希望がある  
特に考えていない。



- ④職場内（訪問等含む）において、グループで保護者向けに、ペアプロを実施する。
- 実施したことがある。
  - 予定・計画している。
  - 予定・計画はないが、してみたい希望がある。
  - 特に考えていない。
- ⑤職場内（訪問等含む）の保護者相談などにおいて、ペアプロの一部のワークを活用する。
- 活用したことがある。
  - 予定・計画している。
  - 予定・計画はないが、してみたい希望はある。
  - 特に考えていない。
- ⑥職場内（訪問等含む）でペアプロのワークは実施しないが、ペアプロ的な考え方やアプローチを保護者相談で活用する。
- 活用したことがある。
  - 予定・計画している。
  - 予定・計画はないが、してみたい希望はある。
  - 特に考えていない。
- ⑦職場内（訪問先等含む）においてペアプロのワークは実施しないが、ペアプロ的な考え方やアプローチを職員間の情報共有や職員指導などで活用する。
- 活用したことがある。
  - 予定・計画している。
  - 予定・計画はないが、してみたい希望はある。
  - 特に考えていない。
- ⑧他の機関と連携してペアプロを開催する。
- 開催したことがある。
  - 予定・計画している。
  - 予定・計画はないが、してみたい希望はある。
  - 特に考えていない。

13. 今回参加された保護者のお子さんについてお尋ねします。保護者の方が現状把握表を作成されたお子さんの、発達障害等に関する傾向についてお聞かせください。

①参加保護者のお子さんの人数・・・（ ）名（←保護者の参加人数と同数）  
そのうち、

- ②発達障害に関連する診断あり・・・（ ）名
- ③発達の遅れに関する診断あり・・・（ ）名
- ④発達障害や発達の遅れの疑いあり・・・（ ）名
- ⑤ダウン症など遺伝疾患等の診断あり・・・（ ）名
- ⑥身体機能に関連する診断あり・・・（ ）名
- ⑦発達に関する所見なし・・・（ ）名

発達障害は、自閉症・自閉性スペクトラム障害、アスペルガー障害、ADHD、知的障害、広汎性発達障害、学習障害についてお考えください。

質問は以上です。ご協力、誠にありがとうございました。